

雄峰の由来

「風雪に耐えた高峰は
雄大で気品と自信に満ちている」



雄峰

第162号

編集・発行 P T A 広報部

鹿児島市郡元一丁目20番35号

令和4年3月8日

卒業生から後輩へ…

今年も昨年春に卒業した先輩から、受験を控えた3年生へ思いのこもった合格祈願のメッセージが届きました。これは附属中の誇りある伝統の1つです。3年生の皆さんもきっと大きな力をもらったことだと思います。



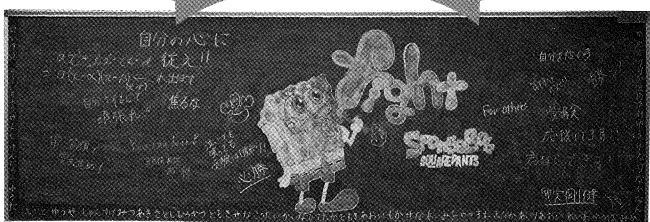
MESSAGE 3-1



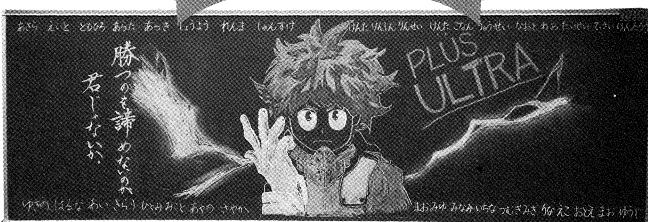
MESSAGE 3-2



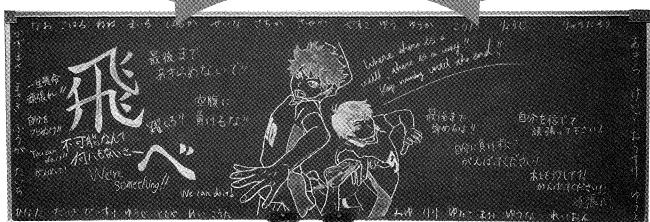
MESSAGE 3-3



MESSAGE 3-4



MESSAGE 3-5



先生方より3年生へ

毎年冬休み直前、3年生に配られる“Check & Achieve”は、附属中の先生方からの贈り物（問題集）です。今年の表紙タイトルは「Will」。「意思」を表す英単語です。

3年学年主任の東先生が「志望校合格に向けて強い意志をもって挑み、そして実現してほしい」という思いを込めて書かれました。

Wall

CLASS OF 2024

KAGOSHIMA UNIVERSITY

新年度の行事予定

- 始業式・新任式 4月6日
- 開校記念1日遠足 5月2日
- 学年・学級PTA 6月29日～7月1日

- 入学式 4月7日
- 研究公開 5月19日
- 前期前半終了 7月20日

- PTA総会・育友会総会・学級PTA 4月22日
- 日曜参観 5月29日
- 前期後半開始 8月22日

*コロナウイルス感染症等の影響によって予定を変更する場合があります。

よき出逢いを！

敵な出逢いがあるはずです。
さんにも一生の中できっと素
るあこがれの先生です。皆
れましたが、今でも尊敬す
る私たちは、先生に入ら
ました。すでに鬼籍に入ら
ていました。今でも先生に声をかけ
てください。私が数学教員
になりたい。私が数学教員
を目指すきっかけでもあり
ました。

中学校の先生との出逢いで
した。日頃から厳しい先生
でしたが、生徒一人一人をよ
く見て、褒めて下さいまし
た。今でも先生に声をかけ
てください。私が数学教員
になりたい。

私は大きく変えたのは、
そのときの出逢いが
人生を根底から
変えることがある
よき出逢いを
というものです。

全校集会でも話している
ように、私は相田みつをさ
んの味のある書が好きです。
その中でも一番好きな
言葉は



静思
「よき出逢い」に感謝
副校長 楠原 豊

ヒーローとなって旅立つ君たちへ

【卒業する皆さんへ】

PTA会長 久保和奈利

三年前に期待に胸を膨らませ附属中学校の門をくぐった皆さん、先輩方のタンホイサー行進曲で祝福された入学式はつい先日の様ですが、いよいよ旅立ちの時がやつてきました。

思い起こせば、喜びに歓喜した事や楽しくて笑顔が溢れた事、時には辛くて泣けそうだった事やコロナ禍で悔し涙を流した事も含め、三年間のすべての経験が皆さんを成長させてくれました。そして、様々な局面を乗り越えた後に笑顔でいたのは、苦楽と共にいた仲間、力強く後押ししてくれた先生、寄り添ってくれる家族がいたからであることを忘れないで欲しいと思います。

先の見えないコロナ禍で卒業を迎える今後の新しい生活への不安もあるでしょうし、大きな壁にぶつかる事もあると思います。でもそんな時は、いつでも附属中学校に帰つて来て、仲間・先生・家族の事、附属中学校で経験した事に思いを馳せてみてください。そうすることで、皆さんなら附属魂を胸に必ず乗り越え輝く未来に向かって立ち向かっていくけるはずです。

卒業式の合唱は中止となつてしましましたが、今は心の中で精いっぱい喜びの歌を歌つてください。いざ、たたえん永久の幸。ご卒業おめでとうございます。

【グッバイマイヒーローズ】

三年学年主任 東 佑樹

私が思い描く「ヒーロー」は、優しさと強さを兼ね備えていて、困難にもくじけることなく立ち向かいります。少し不器用なところはあるけれど、強敵と戦うときは勝利を信じて全力で挑み、その姿は周りの人々に夢や希望を与えてくれます。今年度、私はそのような三年生の姿を願い、学年通信を「HEROES」と名付けました。この一年、皆さんと過ごしながら、こうした姿を多く見ることができました。鹿児島県内での修学旅行では、それぞれの活動の中に楽しさや学びを見いだし、仲間と絆を深めました。運動会では、各団が工夫を凝らし、新しい応援の形を示しました。文化祭では、素晴らしい歌声を響かせ、会場を感動で包みました。「コロナ禍」という敵に対しても、タブレット等を活用し、果敢に挑み続けました。そうした皆さん姿は、ヒーローそのものでした。附中の伝統を紡いでくれてありがとう。笑顔いっぱいの素敵な時間をありがとうございました。そして、卒業おめでとう。



3年1組

3年1組

副担任 東 佑樹先生
どんなときも感謝を忘れずに

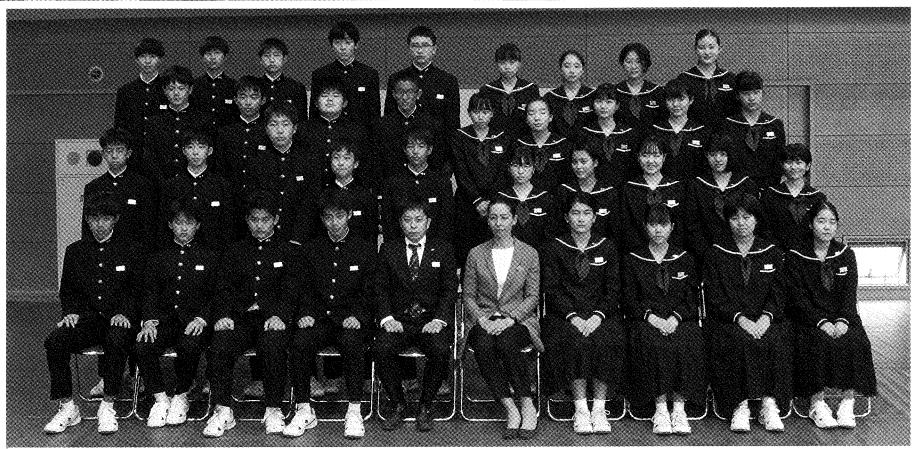
一生青春
そんな人生を☆
担任 豊留 洋輔先生

The main photo shows the entire class of approximately 40 students in three rows, with the teacher seated in front. The inset photos show students in action during sports events and other school gatherings.

3年2組



担任 岩川 朋之先生
とにかく前へ、
前へと歩むのみ



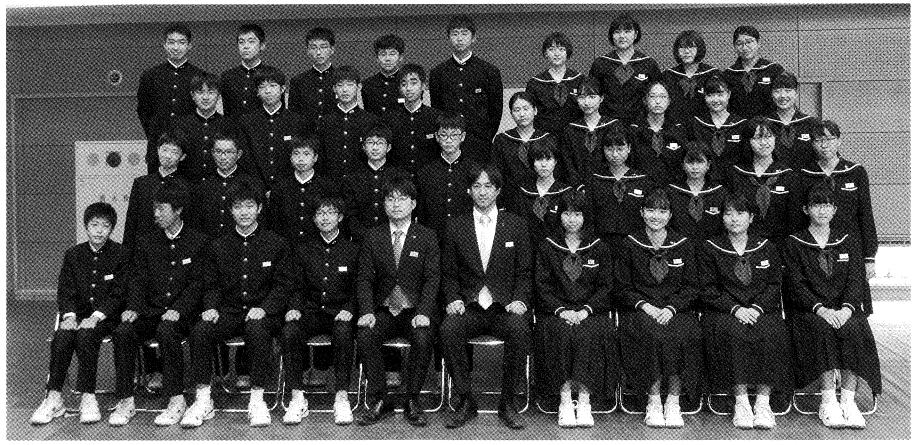
副担任 大井 幸乃先生
自分の信じた道を
心から楽しもう



3年3組



担任 吉川 真悟先生
鮮やかで穏やかで
刺激的な人生を



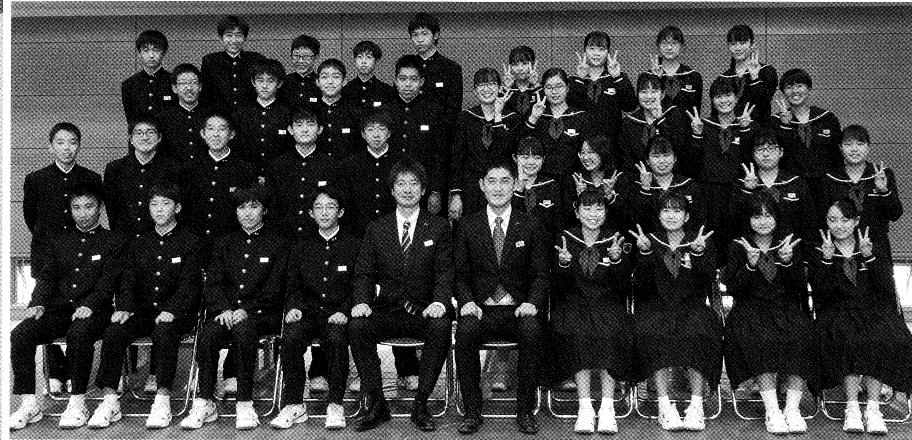
副担任 牧 俊輔先生
一期一会。
仲間を、毎日を大切に



3年4組



担任 森 健太郎先生
僕らはいつも
一人じゃない



副担任 野口 裕一先生
いつも澁刺と颯爽と
凜とした心で



3年5組



担任 白田 真澄先生
信じて努力し、
愛される人であれ



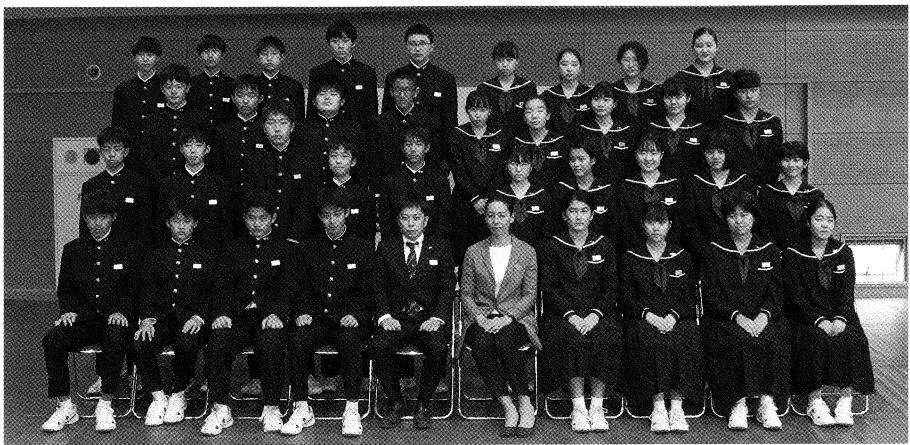
副担任 東 佑樹先生
どんなときも
感謝を忘れずに



3年2組



担任 岩川 朋之先生
とにかく前へ、
前へと歩むのみ



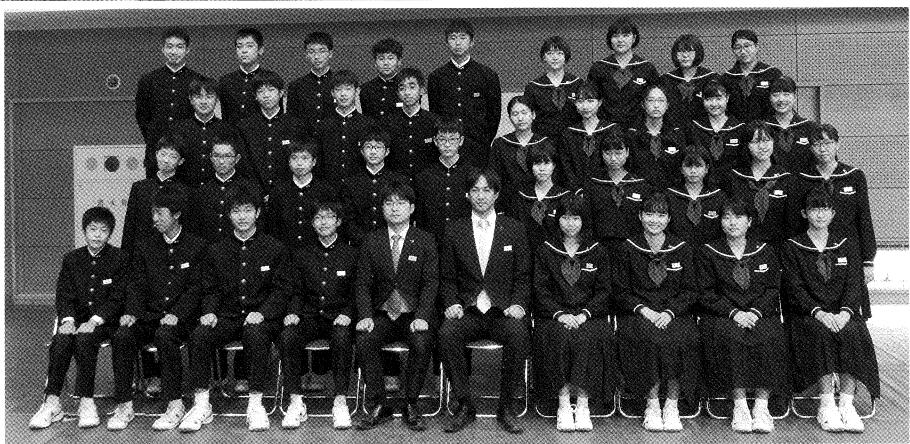
副担任 大井 幸乃先生
自分の信じた道を
心から楽しもう



3年3組



担任 吉川 真悟先生
鮮やかで穏やかで
刺激的な人生を



副担任 牧 俊輔先生
一期一会。
仲間を、毎日を大切に





保健部

年間
テーマ

家族で取り組む 附中生活S・S・O ～食事・睡眠・アウトメディアの取組～

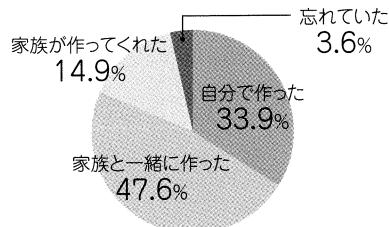
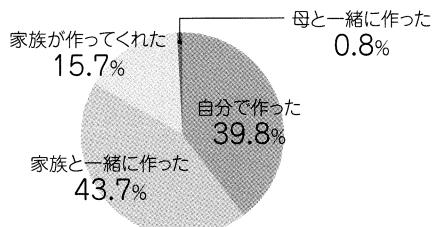
(食事・睡眠・アウトメディア)

おにぎり弁当の日
【1回目】令和3年10月29日(金)おにぎりのみ
【2回目】令和3年12月6日(月)おにぎり+おかず3品

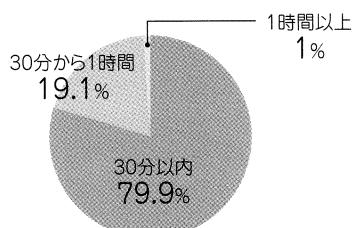
●アンケート実施日 令和3年12月9・10日
●回答数(回答率) 510名
●御協力ありがとうございました。

[主な取組] 食の大切さ、病気に負けない体づくり、食事を作ってくれる家族や食への感謝の気持ちを育てる。

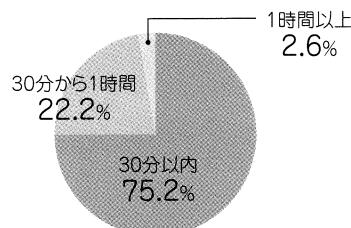
Q1 「第1回おにぎり弁当の日」のお弁当はどのようにして作りましたか? **Q2 「第2回おにぎり弁当の日」のお弁当はどのようにして作りましたか?**



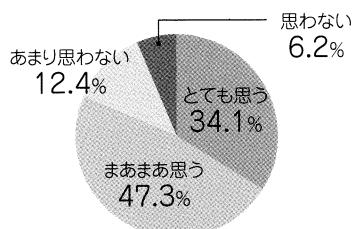
Q3 「第1回おにぎり弁当の日」のお弁当を作るのに、どのくらい時間がかかりましたか?



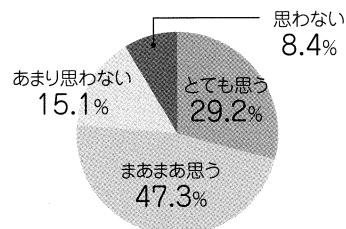
Q4 「第2回おにぎり弁当の日」のお弁当を作るのに、どのくらい時間がかかりましたか?



Q5 おにぎり弁当の日を実施してみてよかったですと思いますか?



Q6 また機会があれば、作りたいと思いますか?



アンケートを
終えて

- 自分で作ってみて、親の苦労を理解できた。
- ごはんを作る楽しさを体感した。
- 食に感謝する良い機会となった。
- 親の大変さを知れたので、感謝の気持ちを伝えることができた。
- 家族と話す機会が増えた。
- 自分でおにぎりを作れるようになった。

食を通して、食への興味関心、家族とのふれあい、感謝の気持ちなどを育てる機会にしていただけたらと思います。

- 1月19日に予定していた市学校保健フォーラムは中止。2月10日に予定していた県健康教育研究大会は、生涯にわたり健康に過ごすことのできる児童生徒等を育成する健康教育の推進をテーマとし、オンラインでの実施となりました。
- 2月4日開催予定の第2回学校保健委員会は、紙上報告となりました。今年度のテーマについて、「おにぎり弁当の日を通して食への興味関心が深まった」や「アウトメディアに対する危険性を親子で考えルールを決めた」など、活動して良かったという意見が多く寄せられました。来年度のテーマの候補として、おにぎり弁当・アウトメディアについての継続、心の健康、栄養、睡眠、歯についてなどがあげられました。

最後に、先生方、会員の皆様の御理解と御協力のもと、活動できましたことに心より感謝申し上げます。

先生の中学時代!

人生はカクテルのよう

一年四組担任

小笠原 淳



何をやつても中途半端でうまくいかない。中学校の頃を思い出すと、もやもやしていた記憶しかありません。そんな自分の中学校時代が私はずっと嫌いでした。でも、人生を一杯のカクテルだと考えると、最近ちょっとだけそのときの自分を愛おしく思えます。みつともない姿で、友だちとともに必死に生きていた自分。ベースがしつかりしていれば、何が加わっても、美味しいカクテルができるように、変わることのない、自分のベースが創られたのが中学校時代だったと今は思っているからです。時代とともに、変化は必要です。ただ、揺るがない自分のベースを創ることは人生にとってきっと大切なことなんだと感じる今日この頃です。

入賞おめでとう

鹿児島県発明くふう展
優良賞 入選

大工園美咲

三年

前田洋

二年

上村透菜

月乃

永田愛彩

二年

中尾田向子

二年

高田真央

二年

中竹杏理

二年

伊集院類

二年

寺田涼子

二年

坂元恭子

二年

川路千尋

二年

下入佐茉那

二年

奥隆一郎

二年

坂元恭子

二年

(水泳)

女子二〇〇m個人メドレー
第一位

佐々木 咲弥

佐々木 咲弥

佐々木 咲弥